



■ご寄付ありがとうございました

5月23日に、佐渡市トキ環境整備基金贈呈式が行われ、新潟市の原沢みなこ様から8万7635円のご寄付をいただきました。

いただきましたご芳志は、トキの野生復帰や生息環境の整備に使わせていただきます。ありがとうございます。

■第12回トキ放鳥

6月5日の朝、野生復帰ステーション順化ケージにおいて、放鳥口を開放して12回目となるトキの放鳥が開始されました。

今回放鳥されたトキは、オス15羽、メス4羽の合計19羽で、この日の12時まですべてのトキが飛翔し、放鳥が終了しました。

■トキの情報をお寄せください

順化ケージから飛翔したトキは、普段トキが見られない場所で行動することもあります。また、野生下で誕生し、巣立ちを終えたひなが地上で採餌するなどの様子も確認されています。

野外生まれのトキには黄色のナンバーリングを着けていますので、



巣立ちしたひな(写真提供:環境省)

見かけた際にはトキ交流会館(フリーダイヤル0120-9980-551)へお気軽に情報をお寄せください。皆さまからいただいた情報が重要なデータとなりますので、ご協力をお願いします。

なお、トキを見かけたら次の点に注意し、やさしく静かに見守りましょう。

- ① トキに近づかない
- ② 車内から観察する
- ③ 大きな音や光を出さない

※特にねぐらや巣のある林には近づかないようにしましょう。

(トキ観察ルールガイドから抜粋)

◆市役所農林水産課生物多様性推進室トキ政策係(トキ交流会館内)

☎24-6040

夏休みに行きたい! オススメジオポイント☆新穂

新穂から金井に抜ける、とても長くてまっすぐな農道があります。道路の周りは水田が広がり、トキも飛来します。車でただ走るだけでも気持ちが良いですが、この田んぼの下には新穂村玉作遺跡群という多くの遺跡が眠っていることをご存知でしょうか?

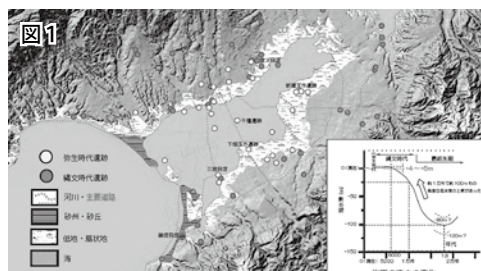
新穂村玉作遺跡群は主に4つの遺跡からなる弥生時代から古墳時代までの集落遺跡で、遺跡総面積が47万平方メートル以上もある、国内最大規模の玉作遺跡群です。佐渡で産出する赤玉や青玉等の石材を用い、管玉(くだたま)などの装飾品を製造していた弥生時代の一大工房跡が、広大な田んぼの下に埋もれています。

なぜ田んぼのど真ん中に遺跡があるのでしょうか? 弥生時代の環境を想像すると、答えが見えてきます。約6千年から5千年前の縄文時代には、現在よりも海水面が4mから5m高かったとされ、現在の田面よりも一段高いところに遺跡が分布しています。海面が現在の高さに近づいたのは弥生時代(約2千年前)だとされ、縄文時代には海であった場所に遺跡が広がっています(図1)。新穂村玉作遺跡群が形成された頃は、遺跡の近くに湖

沼や湿地があり、水があつたことが想像できます。その証拠に、遺跡群のひとつ、蔵王遺跡からは3本の環濠(堀のこと)と見られる溝が発見されており、神殿と考えられる建物跡や鏡などの祭祀的遺物が出土しているのが特徴ですが、石包丁や管玉、矢じりなども出土しており、人々が生活していたことが伺えます。

田んぼが広がる風景も、2千年前に想いを馳せてみると、まったく違う風景が見えてきます。過去と現在を想像(妄想)しながらドライブするのも、ジオパークの楽しみ方のひとつです。

◆教育委員会社会教育課
ジオパーク推進室(両津支所内)
☎27-4185



約5千年前の国中平野(標高6mの等高線を当時の海岸線として推定しています) 佐渡島の自然(地学編)—ジオパーク解説書—